

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

よみがえる日本映画 vol.5[日活篇]

—映画保存のための特別事業費による

The Little Known Japanese Cinema vol.5
- NFC's Newly Acquired Collection from Major Film Studios

2013年2月5日(火) - 3月17日(日)

電力事情など今後の状況により急遽スケジュールが変更される可能性もございます。最新の情報は、当館ホームページ又はハローダイヤルにてご確認ください。

2月の休館日:

月曜日

大ホール

開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円/

障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料

発券=2階受付

- 観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。



東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo

よみがえる日本映画

—映画保存のための特別事業費による

vol. 5
日活篇



2013

2

NFCカレンダー
2013年2月号

大ホール 上映作品

よみがえる日本映画 vol.5

【日活篇】

—映画保存のための特別事業費による

The Little Known Japanese Cinema vol.5 - NFC's Newly Acquired Collection from Major Film Studios

フィルムセンターでは、平成21年度補正予算から映画保存のための特別事業費を得て、通常の収集活動では困難なフィルム・コレクションの拡充や原素材の整備に取り組んできました。事業の実施にあたっては、次のような二つの方針が定められました。

①フィルムセンターがこれまでに収集した貴重なフィルムから保存用のネガと上映用のニュー・プリントを作成する。

②映画会社が保管している旧作映画のうち、既にネガが失われマスター・ポジ、上映プリントのみが残されている作品を調査して、ネガとニュー・プリントの作成を行う。

今回の特別事業により、既存のコレクションからの原簿作成は159作品、映画会社からの購入は173作品、総数では332作品(フィルムの総数は909本)が新たにフィルムセンターのコレクションとして収蔵されることになりました。とりわけ後者は、これまでフィルムセンターでの収集がかなわなかった作品、映画館のスクリーンでは久しく見ることができなかった作品がほとんどを占めています。それらをまとめて紹介する企画の第5弾として、今回は、創立100周年をむかえた日活の足跡をたどった企画上映「日活映画の100年 日本映画の100年」に続き、同社の1950年代の主要作品を中心に、計27本を紹介するプログラムとなります。ニュー・プリントで甦った日本映画をフィルムセンターの大スクリーンでお楽しみください。

*本事業の実施にあたっては、社団法人日本映画製作者連盟加盟社等映画会社各社および現像所各社のご協力をいただきました。

*『百万ドルの明星 陽気な天国』『地獄の波止場』8時間の恐怖は、2011年3月に開催した「よみがえる日本映画—映画保存のための特別事業費による」で上映した作品です。

- ◎=監督・演出 ◎=原作・原案 ◎=脚本・脚色
- ◎=撮影 ◎=美術・装置 ◎=音楽 ◎=出演
- スタッフ、キャストの人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。



國定忠治

1 2/5(火)3:00pm 2/17(日)4:00pm 2/28(木)7:00pm

國定忠治(116分・35mm・白黒)

戦後の製作再開第1回作品(『かくて夢あり』と同時上映)。新国劇の代表作であり、戦前より何度も映画化されてきた「國定忠治」。菊島隆三のオリジナル脚本による本作は、辰巳柳太郎、島田正吾の二大看板をはじめ、当時の新国劇の俳優が総出演している。再開したばかりの日活は、このようなコラボレーションで、何とかスター不足を乗り切ろうとした。

'54(日活)◎滝沢英輔◎菊島隆三◎峰重義◎藤森誠吾◎大森盛太郎◎辰巳柳太郎、島田正吾、津島恵子、花柳小菊、野村清一郎、石山健二郎、秋月正夫、河村憲一郎、岡泰正、清水彰、久松喜世子、千早隆子、畑中夢坡

2 2/5(火)7:00pm 2/23(土)1:00pm 3/6(水)3:00pm

地獄の剣豪 平手造酒(105分・35mm・白黒)

『國定忠治』と同じく、菊島隆三脚本、日活と新国劇のコラボレーションによる時代劇。平手造酒(辰巳)が愛する女・お吟を山田五十鈴、造酒と対立する助五郎一家の用心棒を宇野重吉が演じる。島田正吾は千葉道場の総師範・千葉周作役で僅かに出演するのみ。

'54(日活)◎滝沢英輔◎菊島隆三◎三村明◎小池一美◎大森盛太郎◎辰巳柳太郎、山田五十鈴、島田正吾、宇野重吉、南壽美子、石山健二郎、秋月正夫、三島雅夫、畑中夢坡、山形勲、野村清一郎、河村憲一郎、清水彰

3 2/6(水)3:00pm 2/23(土)4:00pm 3/1(金)7:00pm

俺の拳銃は素早い(94分・35mm・白黒)

戦前は日活多摩川撮影所に所属し、監督にも昇進していた野口博志。だが、1942年の戦時統制により日活の製作部門が大映に吸収されたことから、松竹で再び助監督を経験したのち、戦後に製作再開した日活へカムバック。本作は、野口の日活での監督デビュー作であり、フィルム・ノワール風の私立探偵もの。

'54(日活)◎野口博志◎渡邊肇◎高岩肇◎永塚一榮◎小池一美◎仁木他喜雄◎河津清三郎、日高澄子、伊豆肇、植村謙二郎、石黒達也、清水将夫、名和宏、朝美矢子、星野みよ子、柳谷寛、田島義文、清水一郎、本郷秀雄

4 3/12(火)7:00pm

百万ドルの明星 陽気な天国

(73分・35mm・白黒)

歌手の近江俊郎が製作・原案・主演を担当し、古川緑波(ロッパ)が監督・脚本・出演を引き受けた歌謡映画。他に森繁久彌や三木のり平などが出演、古賀政男、東郷青児などが特別出演。レコード歌手を目指す艶歌師(近江)が古賀の名を騙る書生・久森(森繁)にそそのかされて上京。本物の古賀に歌は聴いてもらえなかったが、近江俊郎の真似だと言われてしまい…

'55(近江プロ)◎◎◎古川緑波◎◎◎近江俊郎◎杉本正二郎◎◎東郷青児◎◎古賀政男◎森繁久彌、三木のり平、暁テル子、丹下キヨ子、東郷たまみ、城美保子、姫路和子

5 2/6(水)7:00pm 2/24(日)1:00pm 3/5(火)3:00pm

花のゆくえ(99分・35mm・白黒)

連続ラジオドラマ原作のメロドラマ。『ひめゆりの塔』(今井正監督、1953)、『七人の侍』(黒澤明監督、1954)に出演するなどめざましい活躍を見せていた津島恵子と、宝塚歌劇団のトップ娘役として知られ、これが日活入社第1作となった新珠三千代との共演が見所。ラジオドラマのスポンサーであった森永製菓の商品名が本作でも、画面のあちこちに登場している。

'55(日活)◎森永健次郎◎阿木翁助◎成澤昌茂◎三村明◎坂口武玄◎古賀政男◎津島恵子、新珠三千代、若原雅夫、岡田英次、伊藤雄之助、殿山泰司、多々良純、金子信雄、芦田伸介、坪内美子、清川玉枝、矢吹壽子、東恵美子

6 2/7(木)3:00pm 2/24(日)4:00pm 3/6(水)7:00pm

母なき子(89分・35mm・白黒)

南田洋子主演の母もの風人情ドラマ。富子(南田)は、浪曲師の父の弟子だった安吉(清水)の紹介で、東京の自動車工場で働く省二(三島)と結婚。しかし、省二には幼い息子(亀谷)がいることが分かり、富子は地元の大阪に逃げ帰る。だが、省二は間もなく病死し、息子がひとり残される。

'55(日活)◎堀池清◎新藤兼人、高橋二三◎柿田勇◎丸茂孝◎古閑裕而◎南田洋子、亀谷雅敬、三島耕、三橋達也、明智三郎、清水一郎、近藤宏、畑中夢坡、柳谷寛、沢村国太郎、利根はる恵、東谷暎子、高友子

7 2/7(木)7:00pm 2/19(火)3:00pm 3/9(土)1:00pm

石合戦(92分・35mm・白黒)

劇団民芸と大蔵寅の設立した富士映画(大蔵映画の前身)が製作し、日活が配給した児童映画。原作は、摂津・多田神社の神職を父に持つ上小剣の「石合戦」「天満宮」。村の中央に流れる猪名川を挟んで、石合戦をし、水遊び場を取り合う二つの集落の子供たち。当時の劇団民芸から、宇野重吉、奈良岡朋子、鈴木瑞穂、草薙幸二郎、下條正巳などが出演。また、多田神社の一人息子・竹丸(浜田)の母に山田五十鈴。

'55(劇団民芸=富士映画)◎若杉光夫◎上小剣◎松川青史、吉田隆一、村山亞土◎仲澤半次郎◎江坂実◎草川啓◎山田五十鈴、宇野重吉、小澤栄、内藤武敏、嵯峨善兵、高田敏江、奈良岡朋子、小夜福子、浜田光弘、九谷常行、小谷野博、長谷川一夫、渡辺晃、鈴木瑞穂、草薙幸二郎、下條正巳

8 2/8(金)3:00pm 2/19(火)7:00pm 3/10(日)1:00pm

神阪四郎の犯罪(111分・35mm・白黒)

久松静児監督が、石川達三の原作小説を、『警察日記』(1955)と同じく森繁久彌主演で映画化。裁判で互いに食い違う証言を通じて、神阪(森繁)と彼を取り巻く人々の心の奥底に迫る構成は、公開当初より、『羅生門』(黒澤明監督、1950)と比較され、話題になった。姫田真左(佐)久のカメラは、神阪と関係を持つ千代を演じる左幸子を捉えるときなどに、とりわけ大きな力を発揮している。

'56(日活)◎久松静児◎石川達三◎高岩肇◎姫田真佐久◎木村威夫◎伊福部昭◎森繁久彌、新珠三千代、左幸子、瀧澤修、金子信雄、高田敏江、轟夕起子、穴戸錠、杉幸彦、深見泰三、清水将夫、宮坂将嘉、伊達信

9 3/15(金)3:00pm

地獄の波止場(87分・35mm・白黒)

俳優・小杉勇が戦後の日活で初めて監督した作品。陶山鉄原作「霧濤」を浅野辰雄が脚色。製鉄所内を走る熔鉄列車の老機関士(小杉)が、定年を間近に控えたある夜勤の日、強盗団の殺人を目撃、残された金を持ち逃げする。金は組合の金庫から奪われたもので、同じ職場で働く娘の恋人(三橋)に嫌疑がかかる。製鉄所のロケーション撮影が見事。

'56(日活)◎◎◎小杉勇◎陶山鉄◎浅野辰雄◎山崎安一郎◎坂口武玄◎小杉太一郎◎三橋達也、木室郁子、安部徹、隅田恵子、北林谷榮、深見泰三、月野道代、深水吉衛、大友純

10 2/8(金)7:00pm 2/20(水)3:00pm 3/9(土)4:00pm

東京の人 前後篇(125分・35mm・白黒)

川端康成が新聞に連載し、ラジオドラマにもなった同名原作の映画化作品。月丘夢路・新珠三千代・左幸子・芦川いづみといった、当時の日活の人気女優を総動員した文芸メロドラマ。未亡人の白井敬子(月丘)と、その二人の子供(左、青山)は、戦後に出版社を興した島木(滝沢)とその娘の弓子(芦川)と共に、何不自由ない暮らしを送っていた。しかし、出版社の事業が傾き、金策も尽きた島木は失踪してしまう。

'56(日活)◎◎◎西河克巳◎川端康成◎田中澄江、寺田信義◎横山実◎松山崇◎池田雅之◎月丘夢路、新珠三千代、左幸子、芦川いづみ、葉山良二、滝沢修、芦田伸介、金子信雄、桂典子、青山恭二、山田禪二、鴨田喜由、冬木京三

11 2/9(土)1:00pm 2/20(水)7:00pm 3/7(木)3:00pm

流離の岸(101分・35mm・白黒)

新藤兼人監督は、日活では計3本を手掛けており、これはそのうちの1作。母(乙羽)の再婚でできた新しい家族になじめなかった娘(北原)。やがて高校生になり、家を離れて下宿生活を送っていた娘は、級友(明石)の兄(三國)と出会い、愛し合うようになるが…。母娘二代にわたる、女の生きづらさとそれでも生き抜く力強さを描く。

'56(日活)◎◎◎新藤兼人◎大田洋子◎伊藤武夫◎丸茂孝◎伊福部昭◎北原三枝、乙羽信子、三國連太郎、菅井一郎、金子信雄、殿山泰司、村瀬幸子、坪内美詠子、廣岡三樂子、明石淳子、二木てるみ、赤木蘭子、齋藤雄一

12 2/9(土)4:00pm 2/21(木)3:00pm 3/5(火)7:00pm

海の純情(48分・35mm・白黒)

鈴木清順(清太郎)監督の第2作で、春日八郎主演の歌謡映画。春日扮する捕鯨船の船員と、船長の娘(高田)との恋。タイトルバックとラストに鯨のアニメーションが登場する。

'56(日活)◎鈴木清太郎◎田辺朝己、眞弓典正◎永塚一榮◎柳生一夫◎江口夜詩◎春日八郎、高友子、高田敏江、小林重四郎、小田切みき、明美京子、木戸新太郎、天草四郎、小泉都之助、青木富夫、光沢んすけ、瀬山孝司、鈴木三右衛門

夜霧のオ二國道(48分・35mm・白黒)

フランク永井の同名ヒット曲の歌謡映画。日活は、本作を皮切りに、本人の出演も込みで、彼の歌をモチーフにした映画を多数製作した。

'58(日活)◎舛田利雄◎山崎巖◎岩佐一泉◎大鶴泰弘◎吉田正◎小林旭、香月美奈子、フランク・永井、岡田真澄、堀川京子、深江章喜、峰三平、三島謙、青木富夫、水木京一、柳瀬志郎、三杉健、小柴隆

13 2/10(日)1:00pm 2/21(木)7:00pm 3/8(金)3:00pm

悪魔の街(82分・35mm・白黒)

鈴木清順(清太郎)監督の第3作。暴力団の首領・大庭(菅井)に頭の上から早崎(河津)。早崎は、競馬の八百長でもうけた金を、高飛びの資金として大庭に渡すつもりであったが…。菅井一郎の悪役ぶりが際立つ。のちの清順作品を彷彿とさせるテンポの良さがある。

'56(日活)◎鈴木清太郎◎松村基生◎白石五郎◎永塚一榮◎佐谷三平◎小杉太一郎◎河津清三郎、菅井一郎、由美あづさ、河野秋武、中川晴彦、志摩桂子、松下達夫、芦田伸介、相原巨典、宮崎準、雪岡純、三島謙、峰三平

14 2/10(日)4:00pm 2/22(金)3:00pm 3/7(木)7:00pm

逆光線(91分・35mm・白黒)

「太陽の季節シリーズ」第3篇と銘打ち、当時「女偵探太郎」といわれた女子大生作家・岩橋邦枝の「逆光線」「熱帯樹」を映画化。愛のない貞節は意味がないとして、既成の性道徳に反発する女子大生の玲子(北原)。しかし、その生き方は周囲からの風当たりも強く…。女子大の寮、新宿三丁目の酒場、パルメントのアルバイト、パーティやキャンプファイヤーなど、当時の東京の若者風俗がふんだんに描かれている。

'56(日活)◎◎古川卓巳◎岩橋邦枝◎池田一朗◎姫田真佐久◎高田一郎◎小杉太一郎◎北原三枝、安井昌二、青山恭二、香月美奈子、木室郁子、渡辺美佐子、梶桂子、杉幸彦、二本柳寛、金子信雄、高野由美、紅沢葉子、信欣三

15 2/12(火)3:00pm 2/22(金)7:00pm 3/10(日)4:00pm

地下から来た男(78分・35mm・白黒)

フランキー堺と、彼と映画でよく共演した市村俊幸のコンビによる諷刺喜劇。地下鉄を稼ぎ場にするスリの滝口進平(堺)に、古くからの知り合いで刑事の熊田(市村)は翻弄される。二人はこのあと、『牛乳屋フランキー』(中平康監督、1956)、『幕末太陽傳』(川島雄三監督、1957)でも共演する。

'56(日活)◎吉村廉◎川内康範、眞弓典正◎中尾利太郎◎柳生一夫◎原六郎◎フランキー・堺、牧真貴、市村俊幸、東谷暎子、桂典子、丹下キヨ子、木室郁子、相原巨典、玉村俊太郎、花村典克、加原武門、黒田剛、須藤孝

16 2/12(火)7:00pm 3/2(土)1:00pm 3/13(火)3:00pm

感傷夫人(92分・35mm・白黒)

「婦人公論」に連載された伊藤整の同名原作の映画化作品。未亡人の藤崎妙子(月丘)、亡夫の後輩で大学で研究を続ける秋山豊(安井)、そして妙子の同窓で貿易会社に勤める立松正子(北原)。妙子と秋山は互いに愛し合っているが、彼らの気持ちを知りながら、正子は秋山に近づく。正子が秋山と立ち寄りバーなど、中村公彦らしい美術も見所。

'56(日活)◎堀池清◎伊藤整◎寺田信義◎藤岡糸信◎中村公彦◎山本直純◎月丘夢路、北原三枝、安井昌二、穴戸錠、清水将夫、宇野重吉、香月美奈子、東恵美子、二本てるみ、汐見洋、山岡久乃、成瀬昌彦、大森安行

17 2/13(木)3:00pm 3/2(土)4:00pm 3/8(金)7:00pm

愛は降る星のかたに(94分・35mm・白黒)

ゾルゲ事件を最初に映画化した作品。森雅之演じる坂崎秀実(=尾崎秀実)が逮捕され、坂崎を担当する弁護士で仲人の杉浦(浜村)が、妻(山根)に事件の経緯を語る。夫婦愛を軸にして、回想風に事件を見せてゆく。

'56(日活)◎齋藤武市◎猪俣勝人、糸永英一◎横山實◎坂口武玄◎齋藤高順◎森雅之、山根寿子、浅丘ルリ子、香月美奈子、小園蓉子、明美京子、高田敏江、ポップ・ブース、ハロッド・ベルゲン、ポール・グセル、リディアン・アングース、二本柳寛、金子信雄、浜村純

18 2/13(木)7:00pm 3/3(日)1:00pm 3/12(火)3:00pm

地底の歌(89分・35mm・白黒)

野口博志監督が手掛けた、平林たい子「地底の歌」の最初の映画化作品。2度目は「関東無宿」(鈴木清順監督、1963)である。やくざの青年「ダイヤモンドの冬」に石原裕次郎。同年公開の『狂った果実』(中平康監督)などはまた違った魅力を見せており、脇役ながら強く印象に残る。イカサマ賭博に手を貸す冬の姉を山根寿子が好演。

'56(日活)◎野口博志◎平林たい子◎八木保太郎◎永塚一榮◎大鶴泰弘◎原六郎◎名和宏、石原裕次郎、山根寿子、香月美奈子、東谷暎子、美多川光子、坪内美詠子、菅井一郎、深見泰三、雨宮節子、瀬川路三郎、二本柳寛、高品格

19 2/14(木)3:00pm 3/3(日)4:00pm 3/13(火)7:00pm

浮草の宿(74分・35mm・白黒)

鈴木清順(清太郎)監督の第4作目で、春日八郎の同名ヒット曲の歌謡映画。本作での春日は、主人公の青年(二谷)を助ける流しの歌手という、物語の鍵を握る脇役に回る。港町・横浜で繰り広げられるアクションが前面に出て、『海の純情』とは雰囲気異なる作品になった。

'57(日活)◎鈴木清太郎◎山崎巖◎中尾利太郎◎佐谷晃能◎江口夜詩◎春日八郎、木室郁子、二谷英明、安部徹、宮崎準、小澤昭一、山岡久乃、高品格、雪岡純、花村典克、木下伸一、深江章喜、ハロッド・エス・コンウェイ

20 2/14(木)7:00pm 3/1(金)3:00pm 3/17(日)4:00pm

復讐は誰がやる(92分・35mm・白黒)

サーカスを舞台に繰り広げられる復讐もの。空中ブランコ乗りの竜太郎(水島)は、ギャングの犯罪の片棒を担がされ、行方不明に。2年が経ち、サーカスには、ライフル銃の名手・雄吉(三橋)が加わっていた。監督の野口博志は、このち、小林旭主演の『銀座旋風児』シリーズ(1959-63)など日活アクションを支え、1963年に晴康と改名してからは、日活唯一の怪獣映画『大巨獣ガッパ』(1967)を演出するなど活躍するが、67年に急逝。

'57(日活)◎野口博志◎◎青木義久◎窪田篤人◎松橋梅夫◎坂口武玄◎原六郎◎三橋達也、水島道太郎、左幸子、坂東好太郎、瀬川路三郎、弘松三郎、高品格、美川洋一郎、西村晃、筑波久子、天路圭子、雨宮節子、浦島久恵

21 2/15(金)3:00pm 2/26(火)7:00pm 3/17(日)1:00pm

私は前科者である(90分・35mm・白黒)

原作は、怪談小説で知られる橋外男の自伝的長篇。時代は昭和初期。主人公(安井)は、結核を患った芸者を身請けしようとして公金を横領し、服役したことがある。出所後、彼は商社で働くことになり、順調に更生していたが、そこにかつて同房だった男(芦田)があらわれる。

'57(日活)◎◎古川卓巳◎橋外男◎八木保太郎◎伊佐山三郎◎木村威夫◎小杉太一郎◎安井昌二、リンダー・カーター、高田敏江、清水将夫、西村晃、岡田真澄、芦田伸介、殿山泰司、安部徹、小林重四郎、佐野浅夫、近藤宏、浜村純



東京の人 前後篇

22 3/16(土)4:00pm

8時間の恐怖(77分・35mm・白黒)

鈴木清順(清太郎)監督の第5作で、初期の佳作。水害で列車が運休し、振替のバスが手配される。だが深夜の山道の状態は悪く、さらに出発直前になって銀行ギャング2人組が山中に逃げ込んだという情報が入る。それでもバスを選び残ったのは訳ありの人々ばかり。彼らに乗せたバスは8時間の行程を出発する。刑事に護送される殺人犯の元軍医を金子信雄が演じる。

'57(日活)◎鈴木清太郎◎齋藤耕一◎棚田吾郎、築地六郎◎永塚一榮◎佐谷三平◎仁木他喜雄◎金子信雄、利根はる恵、南寿美子、植村謙二郎、香月美奈子、柳谷寛、近藤宏、二谷英明、織田政雄

23 2/16(土)1:00pm 2/26(火)3:00pm 3/14(木)7:00pm

永遠に答えず 青春篇(90分・35mm・白黒)

月丘夢路主演、連続ラジオドラマ原作のメロドラマ。由美子(月丘)、恋人の宏(葉山)が出征した後、密かに女兒を出産する。しかし、宏が戦死したと聞かされた由美子の母(小夜)は、産まれたばかりの赤ん坊を他人に預けてしまう。ここから、由美子と宏、そして彼らの娘の三人は、徹底的にすれ違ってゆく。

'57(日活)◎◎西河克巳◎齋藤豊吉◎山内亮一◎藤岡糸信◎佐谷三平◎古賀政男◎月丘夢路、葉山良二、大坂志郎、安井昌二、浅丘ルリ子、小杉勇、小夜福子、小園蓉子、坪内美詠子、高田敏江、中川晴彦、天草四郎、山田禪二

24 2/16(土)4:00pm 2/27(火)3:00pm 3/15(金)7:00pm

永遠に答えず 完結篇(103分・35mm・白黒)

前作の青春篇に引き続き、ヒロインの月丘を巡って、当時の日活俳優たちが巧みなアンサンブルを見せる。ラストに至るまでの二転三転する展開には圧倒される。

'58(日活)◎◎西河克巳◎齋藤豊吉◎山内亮一◎藤岡糸信◎佐谷三平◎古賀政男、池田正義◎月丘夢路、葉山良二、水島道太郎、大坂志郎、安井昌二、浅丘ルリ子、小杉勇、利根はる恵、村瀬幸子、汐見洋、坪内美詠子、北林谷栄、高原駿雄

25 2/15(金)7:00pm 2/28(木)3:00pm 3/16(土)1:00pm

心と肉体の旅(90分・35mm・白黒)

のちに日活アクションの主要な担い手となる、舛田利雄の監督デビュー作。舛田から「第一回は頼む」と告げられていたという姫田真左(佐)久が撮影を担当(「姫田真左のパンチ人生」)。撮影所のニューフェイス試験のため、九州から上京した直美(南田)とルリ子(中原)。だが受かったのは、直美だけだった。ニューフェイスの審査員役として、水の江滝子と石原裕次郎がカメラ出演している。

'58(日活)◎◎舛田利雄◎井上友一郎◎姫田真佐久◎松山崇◎眞鍋理一郎◎南田洋子、葉山良二、安井昌二、中原早苗、南寿美子、金子信雄、楠田薫、二谷英明、西村晃、深見泰三、小林重四郎、新井麗子、渡のり子

26 2/17(日)1:00pm 2/27(火)7:00pm 3/14(木)3:00pm

羽田発7時50分(58分・35mm・白黒)

『夜霧のオ二國道』に続いて舛田利雄が手掛けた、フランク永井の同名ヒット曲の歌謡映画。日東自動車のテストドライバー(岡田)が、箱根や江の島の高速度路で、他社のライバル(二谷)とのスピード勝負に挑む。フランク永井は岡田真澄の同僚という役どころ。歌謡映画としてはもちろん、アクションものとしても魅力的な作品。

'58(日活)◎◎舛田利雄◎佐藤邦夫◎山崎巖◎藤岡糸信◎坂口武玄◎山本直純◎岡田真澄、白木マリ、フランク・永井、二谷英明、丘野美子、待田京介、エミー・瀬尾、冬木京三、深江章喜、柳瀬志郎、須藤孝、神山勝、小柴隆



逆光線

よみがえる日本映画 vol.5 [日活篇] — 映画保存のための特別事業費による
The Little Known Japanese Cinema vol.5 - NFC's Newly Acquired Collection from Major Film Studios

月	火	水	木	金	土	日	
2月	4 1 國定忠治 3:00pm (116分)	3 俺の拳銃は素早い 3:00pm (94分)	6 母なき子 3:00pm (89分)	8 神阪四郎の犯罪 3:00pm (111分)	11 流離の岸 1:00pm (101分)	13 悪魔の街 1:00pm (82分)	
	2 地獄の剣豪 平手造酒 7:00pm (105分)	5 花のゆくえ 7:00pm (99分)	7 石合戦 7:00pm (92分)	10 東京の人 前後篇 7:00pm (125分)	12 海の純情 夜霧のオ二國道 4:00pm (48分)	14 逆光線 4:00pm (91分)	
	15 地下から来た男 3:00pm (78分)	17 愛は降る星のかなたに 3:00pm (94分)	19 浮草の宿 3:00pm (74分)	21 私は前科者である 3:00pm (90分)	23 永遠に答えず 青春篇 1:00pm (90分)	26 羽田発7時50分 1:00pm (58分)	
	16 感傷夫人 7:00pm (92分)	18 地底の歌 7:00pm (89分)	20 復讐は誰がやる 7:00pm (92分)	25 心と肉体の旅 7:00pm (90分)	24 永遠に答えず 完結篇 4:00pm (103分)	1 國定忠治 4:00pm (116分)	
	7 石合戦 3:00pm (92分)	10 東京の人 前後篇 3:00pm (125分)	12 海の純情 夜霧のオ二國道 3:00pm (48分)	14 逆光線 3:00pm (91分)	2 地獄の剣豪 平手造酒 1:00pm (105分)	5 花のゆくえ 1:00pm (99分)	
	8 神阪四郎の犯罪 7:00pm (111分)	11 流離の岸 7:00pm (101分)	13 悪魔の街 7:00pm (82分)	15 地下から来た男 7:00pm (78分)	3 俺の拳銃は素早い 4:00pm (94分)	6 母なき子 4:00pm (89分)	
	23 永遠に答えず 青春篇 3:00pm (90分)	24 永遠に答えず 完結篇 3:00pm (103分)	25 心と肉体の旅 3:00pm (90分)	20 復讐は誰がやる 3:00pm (92分)	16 感傷夫人 1:00pm (92分)	18 地底の歌 1:00pm (89分)	
	21 私は前科者である 7:00pm (90分)	26 羽田発7時50分 7:00pm (58分)	1 國定忠治 7:00pm (116分)	3 俺の拳銃は素早い 7:00pm (94分)	17 愛は降る星のかなたに 4:00pm (94分)	19 浮草の宿 4:00pm (74分)	
	3月	4 5 花のゆくえ 3:00pm (99分)	2 地獄の剣豪 平手造酒 3:00pm (105分)	11 流離の岸 3:00pm (101分)	13 悪魔の街 3:00pm (82分)	7 石合戦 1:00pm (92分)	8 神阪四郎の犯罪 1:00pm (111分)
		12 海の純情 夜霧のオ二國道 7:00pm (48分)	6 母なき子 7:00pm (89分)	14 逆光線 7:00pm (91分)	17 愛は降る星のかなたに 7:00pm (94分)	10 東京の人 前後篇 4:00pm (125分)	15 地下から来た男 4:00pm (78分)
		18 地底の歌 3:00pm (89分)	16 感傷夫人 3:00pm (92分)	26 羽田発7時50分 3:00pm (58分)	9 地獄の波止場 3:00pm (87分)	25 心と肉体の旅 1:00pm (90分)	21 私は前科者である 1:00pm (90分)
		4 百万ドルの明星 陽気な天國 7:00pm (73分)	19 浮草の宿 7:00pm (74分)	23 永遠に答えず 青春篇 7:00pm (90分)	24 永遠に答えず 完結篇 7:00pm (103分)	22 8時間の恐怖 4:00pm (77分)	20 復讐は誰がやる 4:00pm (92分)

展示室 (7階)

【企画展】

ウェスタン
西部劇の世界
ポスターでみる映画史 Part 1
Film History in Posters Part 1: Western Movies
「駅馬車」から「許されざる者」まで—
映画ポスターでつづる西部開拓史

1月8日(火)〜3月31日(日) *月曜日は休室です。
新シリーズ「ポスターでみる映画史」の第1回となるこの展覧会は、世界映画史において特権的な地位を占める西部劇に光を当てるポスター展です。傑作西部劇や往年の美男スターの出演作から近年の作品まで、戦後に公開された名作の日本版ポスターを通じてその系譜をたどります。専門家によるギャラリー・トークも開催されます。
*詳細は当該チラシまたはホームページをご覧ください。

【常設展】企画展に併設

NFCコレクションでみる
日本映画の歴史
Nihon Eiga: The History of Japanese Film
From the NFC Non-film Collection

映画の渡来した19世紀末から発展を続け、二つの黄金時代を経験した日本映画の豊かな歴史を、長年フィルムセンターが収集してきた多彩なコレクション(ポスター、スチル写真、雑誌、製作資料、業界資料、カメラなど機械類、映画人の遺品、映像など)によってたどります。日本映画史の新しい学びの場として、小学生から大人まで幅広い世代の方々を対象とする内容になっています。(Captions in Japanese and English)

開室時間=午前11時〜午後6時30分
(入場は午後6時まで)
料金(企画展・常設展共通)=一般200円(100円)/大学生・シニア70円(40円)/高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATパスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料

- * ()内は20名以上の団体料金です。
- * 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。
- * フィルムセンターが主催する上映会をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

常設展ギャラリー・トーク
毎月第一土曜日12時より(休室の場合は第二土曜日)
今月の開催日: 2月2日

図書室カレンダー

赤字は休室日

2月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

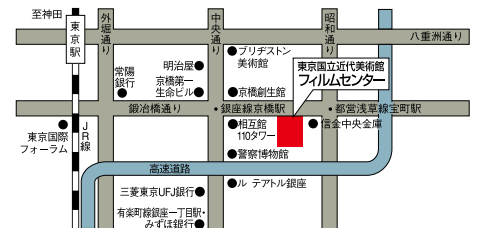
図書室 (4階)

開室=火曜日〜土曜日(午後0時30分〜午後6時30分)/入室は午後6時まで 閉室=休館日および日曜日・祝日

2階受付では、「NFCニュースレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済・保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区区橋3-7-6
▼交通:
東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600
NFCホームページ:
<http://www.momat.go.jp/>
NFC携帯電話ホームページ:
<http://www.momat.go.jp/nfc/>

